



「特集」

手探りのリフォーム 「アパートの空室を話題の岩盤浴サロンに」

● 特異な場所への設置

老若男女問わず、いまや大流行の岩盤浴。テレビ・雑誌等で取り上げられる機会も増え、街中では温泉施設やエステで活用されている。その岩盤浴が、なんとアパートの一室に設置された。

販売元にとっても施工会社にとっても初めての経験だったこの工事のオーナーは、富山県高岡市在住の涼さん。昨年末、ご自身で岩盤浴を体験されたところ、驚くほどの効果を実感。少ない投資で参入でき、メンテナンスが容易であることも魅力の1つだった。世間の健康への関心がますます高まる中、自身の所有するアパートに空き部屋があったため、リフォームすることにした。

サロンのコンセプトは和風。「誰もが気軽に利用でき、一番落ち着けるのは和風」との涼さんご意見。内部は構造体だけの状態になるまで解体し、下地からやり直された。

● 2DKを広く見せる

そもそもアパートの一室という狭い空間。構造体だけになった2DKの空間は、壁で仕切られていた時よりも一層狭く感じられた。浴室・休憩コーナー・更衣室など必要な施設のほか、簡単な食事のできる喫茶コーナーも設置するとあって、いかに広く見せられるかがポイントだった。「壁材の下地を2センチ〜3センチ



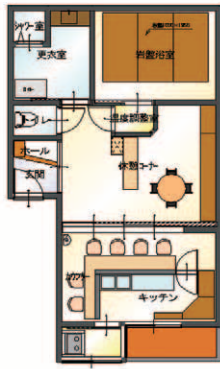
▲リフォーム前



▲構造体だけになった空間。圧迫感のある梁。



▲喫茶コーナー 梁は空間になじむよう活かされた。



▲リフォーム後



▲リフォーム前

● 取れない梁

構造上、どうしても取れない梁・壁があった。取り除けば耐震性が低くなる。部屋の広さと落ち着けるデザインを両立させるため、それらをいかに隠すか、ということに悩んだ。保健所の規則では、温泉施設と飲食

「現場での打合せと作業を同時に進行する工事となりましたが、オーナー様の思いをできるだけ反映できるように努力しました。」と担当者。他の入居者へ配慮するため、施工時間が限られるなどの制限条件もある中、1ヶ月という工期は、オーナー様のご希望に伝えるには十分な早さだった。「イメージ通りです。」との評価だった。(技ネット)

薄くしてあります。」と担当者。これによりカウンター周りがすっきりした。また、部屋の広さを確かめながら工事を進め、岩盤を4床から3床にするなど、レイアウトは柔軟に変更された。



▲浴室内 壁材はヒノキを使用し、落ち着いた雰囲気へ。

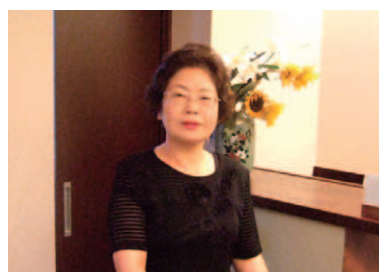


▲店名の由来となった敷地内にある「もちの木」。



▲入浴後、マッサージもできます。

今月のオーナー訪問



もちの木 オーナー
あむら 涼 さん

「貴石岩盤浴 もちの木」

本当にたくさんさんのわがままを言いましたが、親切に対応していただいて、ありがとうございます。落ち着ける空間になって想像していた通りです。

初めて岩盤浴を体験したときは、たくさんさんの汗をかいて、肌もツルツルになり、本当に良いものだと思いました。皆さんにも是非体験してもらえればと思います。

お店は、大通りから奥まったところであり床数も多くありませんが、こぢんまりとした空間を活かして、皆さんの隠れ家的存在になれるよう頑張ります。ご来店お待ちしております。

住所 高岡市開成町2-11コーポ102
(JR高岡駅徒歩5分)
電話 0766-215159
営業時間 午前9時30分〜午後8時30分(最終受付)
定休日 年中無休(年末年始除く) 駐車7台可能



技のリフォーム

0120-183-304